

～アマチャ～



東京理科大学 薬用植物園 2019. 06. 13 撮影



生薬標本 生薬標本室 2022. 6. 6 撮影

学名：*Hydrangea macrophylla* SER. var. *thunbergii* MAKINO

科名：ユキノシタ科

属名：アジサイ属

薬用部位：葉および枝先を、通例、揉捻したもの(局) 生薬の甘味料として日本薬局方に収載

漢方処方：一般用漢方製剤には配合されていない

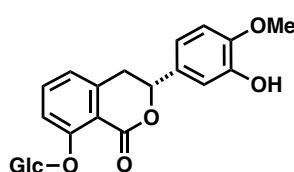
主な薬効：抗酸化、抗菌作用

医薬品：医療用医薬品において、調剤原料として使われている

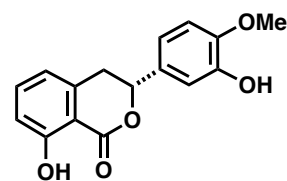
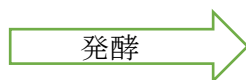
用途：家庭薬製剤の矯味甘味薬、口腔清涼剤の原料、しょう油の甘味料

主要成分：イソクマリン誘導體 フィロズルシン

特徴：7～8月頃、枝先に青～紅紫色の花を散房状につける落葉低木で、日本各地で栽培される。生の葉にはフィロズルシン配糖体が含まれ、苦味がある。葉が発酵することで糖がはずれ、フィロズルシンが遊離して甘くなる。



フィロズルシン配糖体(苦味)



フィロズルシン(甘味)

[参考文献]

薬用植物学 改訂第7版 水野瑞夫監修 南江堂

最新 薬用植物学 奥田拓男著 廣川書店

第十八改正日本薬局方 <https://jpdn.nihs.go.jp/kyokuhou/files/000788459.pdf>

武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園 <https://www.takeda.co.jp/kyoto/area/plantno177.html>

2022.6.6. 4YP M.K.